

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		哲学 I Philosophy I			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 松野 さやか		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	木5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>哲学は、古代ギリシャにおいて、知恵を愛し求めるはたらきとして始動した。それ以来、哲学の営みは現代まで連綿と受け継がれてきた。真の哲学は、個人が考え出したものでありながら普遍性をもつ思想であり、現実を動かす力を人間の内に喚起する。本講義では、17世紀から20世紀にかけて時代の動きの背景にあった哲学とはどのようなものか、その要点を押さえていく。特に、近現代のヨーロッパの代表的な哲学者たちが、人間や世界をどのように見ていたか、物事をどのように考えていたか、その基本的なポイントを学んでいく。そしてそれによって、受講者一人一人が、自らの世界観や思考スタイルを培っていくことを目標とする。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・哲学史(近代から現代まで)の基礎知識を身につける。 ・哲学的に考えることを経験する。 									
【授業計画と内容】									
<p>本授業(哲学I)では、近代以降の大陸系の西洋哲学を扱う。特に、近代的「自我」の概念を生み出したデカルトの物心二元論から、個人の主体的自己存在としての「実存」を主題とする現代哲学までの、哲学史の流れを見ていく。</p>									
第1回	ガイダンス	授業計画および成績評価方法の説明							
第2回	デカルト(1)								
第3回	デカルト(2)								
第4回	パスカル(1)								
第5回	パスカル(2)								
第6回	ヘーゲル								
第7回	キルケゴール(1)								
第8回	キルケゴール(2)								
第9回	ニーチェ(1)								
第10回	ニーチェ(2)								
第11回	ハイデガー								
第12回	ヤスパーズ(1)								
第13回	ヤスパーズ(2)								
第14回	サルトル								
最終回	フィードバック								
【履修要件】									
特になし									
----- 哲学 I (2)へ続く -----									

哲学 I (2)

[成績評価の方法・観点]

学期末のレポートによって評価する。レポートの採点基準は、初回の授業中に説明する。

[教科書]

授業で使う資料は、コピーを配布する。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業で使う資料は事前に配布するので、受講者はそれを授業までに読んでおくことが求められる。学期末のレポート作成には、複数の文献の精読と独自の考察を要する。

[その他(オフィスアワー等)]